

三浦半島小田和湾の海草藻場におけるポリドラ類 (多毛綱スピオゴカイ科)

西 栄二郎・工藤孝浩

Eijiroh Nishi and Takahiro Kudo: Polydorids (Polychaeta: Spionidae) Occurring at Odawa Bay, Miura Peninsula

Summary: We report 6 species of polydorid species (Polychaeta: Spionidae) from the Odawa Bay, Miura Peninsula, Kanagawa Prefecture. In seagrass bed, *Polydora cornuta* Bosc, 1802, *Pseudopolydora* cf. *kempi*, *Pseudopolydora paucibranchiata* (Okuda, 1937), and *Pseudopolydora antennata* (Claparede, 1870) occurred abundantly. In oyster beds in the Sajima port, *Boccardia proboscidea* Hartman 1940 and *Boccardiella hamata* (Webster, 1879) were found.

小田和湾の海草藻場は関東近海で最大規模を誇り、アマモやタチアマモ、コアマモ、ウミヒルモで構成されている(工藤, 1999)。古くよりこの海草藻場では多くの研究が行われており、生物相の解析もすすんでいる。底生動物の中で種数・現存量ともに最大となる多毛類について、西・工藤(2003)はこの海草藻場から37科102種を報告している。今回、そのサンプルを再度検討し、特に個体数の多かったスピオゴカイ科20種中のポリドラ類4種について分類学的検討を行ったので、それらの種群について報告する。さらに、佐島漁港内で採集された2種のポリドラ類についてもあわせて報告する。

調査地と方法

小田和湾内の海草藻場のサンプルについては、2001年5月28日、10月12日、2002年5月23日に行われた採泥器による調査のサンプルを用いた。さらに、佐島漁港内のブイや係留ロープに固着していたマガキを採集し、その殻に付着していたポリドラ類をピンセットを用いて採集した。虫体は10%海水ホルマリンで固定し、70%アルコールで保存した。今回解析した標本はすべて千葉県立中央博物館分館海の博物館に登録・保管しており、登録番号はCMNH-ZW01536-01545である。

結果

Polydora cornuta Bosc, 1802

形態. 体長1.0-2.5 mm, 体前部に黒い点が見られることがある。Prostomiumの先端は2つに分かれ、肉冠caruncleは第3節まで伸びる。眼点は2対。鰓

は第7節から始まり、体後半部まで続く。第5節は他の節より長く、大剛毛を備える。肛節は大きく、カップ状。

特記. 西・工藤(2003)のPolydorid sp. Aは本種である。

Pseudopolydora cf. *kempi* ドロオニスピオ

形態. 体長10-20 mm, 体幅1.0-2.0 mm, 体前部の体節間や肉冠caruncleの周囲に斑点がある。Prostomiumの先端はくびれ、肉冠は第3節に達し、眼点は2対。鰓は第7節から体中部にある。第5節は他の節とほぼ同じ長さ、大剛毛は2列に並び、J字状に配列。肛節先端は盤状に広く開く。

特記. 西・工藤(2003)のPolydorid sp. Bの一部は本種である。海草藻場のサンプルでは、下記のコオニスピオと共に優占種として出現する。

Pseudopolydora paucibranchiata (Okuda, 1937)

コオニスピオ

Polydora (*Carrazia*) *paucibranchiata* Okuda, 1937: 231-233.

形態. 体長10-15 mm, 体幅0.5-0.8 mm, 体に斑点はない。Prostomiumの先端は丸く、肉冠caruncleは第3節に達し、眼点は2対。鰓は第7節に始まり、第16-18節にある。第5節は他の節とほぼ同じ長さ、大剛毛は2列に並び、U字状に配列。肛節先端はカップ状で、短い突起が1対ある。

特記. 西・工藤(2003)のPolydorid sp. Bの一部は本種である。海草藻場のサンプルでは、上記のドロオニスピオと共に出現する。

Pseudopolydora antennata (Claparede, 1870)

オニスピオ

形態. 体長15-25 mm, 体幅1.5-2.0 mm, 体に斑点はない. Prostomiumの先端は深くくびれ, 肉冠caruncleは第6節に達し, 眼点は2-3対. 鰓は第7節に始まり, 体後半部まで続く. 第5節は他の節とほぼ同じ長さ, 大剛毛は2列に並ぶ. 肛節先端は2葉または4葉に分かれる.

特記. 西・工藤(2003)の*Pseudopolydora* sp. は本種である.

Boccardia proboscidea Hartman, 1940

トキワスピオ

形態. 体長10-12 mm, 体幅0.8-1.0 mm, 肉冠の周囲に斑点がある. Prostomiumの先端は丸いかわずかにへこむ, 肉冠caruncleは第3節に達し, 眼点は2対. 鰓は2, 3, 4, 6, 7節とそれ以降にあり, 細長く扁平. 第5節は他の節より長く, 太い鉤状剛毛がある. 肛節先端は4葉に分かれる.

Boccardiella hamata (Webster, 1879)

カギノテスピオ

Polydora uncata: Okuda, 1937, 238-240

形態. 体長10-20 mm, 体幅1.0-2.0 mm, 体に斑点はない. Prostomiumの先端はくびれ, 肉冠caruncleは第3節に達し, 眼点は2対. 鰓は2, 3, 6, 7節とそれ以降にある. 第5節は他の節より長く, 先端がわずかに曲がった大剛毛がある. 体後部の背疣足には太い鎌型の剛毛がある. 肛節先端に2葉のlappetがあり, それぞれに小さな突起を備える.

考察

西・工藤(2003)の報告では, 37科102種が記録されているが, 種まで同定されたのは63種であった. 今回, 1種増えて計103種, 種まで同定されたのが67種となる. ポリドラ類は藻場や干潟に大量に

出現し, 現存量の解析に重要な分類群である. これまで*Polydora ciliata*や*P. ligni*など, 日本各地に普通とされた種群が近年分類学的再検討(Sato-Okoshi, 2000)により, 種名の見直しが迫られている.

小田和湾近海では今島(1968)や大和田(1988)により100種ほどが記録されている. 今回佐島から小田和湾に出現したポリドラ類のうち, カギノテスピオ, トキワスピオ, オニスピオ, ドロオニスピオ(*P. kempii japonica* Imajima & Hartmanとして)は葉山沿岸から記録されている(今島, 1968). 西・工藤(2003)の報告と併せると150種以上の多毛類が三浦半島西岸に分布していると予想される.

謝辞

小田和湾海草藻場のサンプルに関しては, 神奈川県水産総合研究所の方々にお世話になった. ここに記して深謝したい. 本研究の一部は, (財)神奈川県科学技術アカデミー(KAST)からの助成を受けて行われた.

参考文献

- 今島 実, 1968. 葉山地方の多毛環虫類. 横須賀市博物館研究報告, (14): 20-41.
- 工藤孝浩, 1999. 三浦半島, 小田和湾における海草群落の分布. 神奈川県水産総合研究所研究報告, 4: 51-60.
- 西 栄二郎・工藤 孝浩, 2003. 三浦半島小田和湾の海草藻場における多毛類相. 神奈川県水産総合研究所研究報告, 8: 57-69.
- Okuda, S., 1937. Spioniform polychaetes from Japan. J. Fac. Sci., Hokkaido Imp. University, Ser. 6, Zool., 5: 217-254.
- 大和田 隆, 1988. 油壺湾の多毛類相. 神奈川県自然誌資料, (9): 31-36.
- Sato-Okoshi, W., 2000. Polydorid species (Polychaeta: Spionidae) in Japan, with descriptions of morphology, ecology and burrow structure. 2. Non-boring species. J. mar. biol. Ass. U. K., 80: 443-456.

(西: 横浜国立大学教育人間科学部,
工藤: 神奈川県水産総合研究所)